

AMDA

国連経済社会理事会に政策提言

「総合協議資格」を取得

国際医療援助団体「AMDA」（本部・岡山市櫛津）は18日、国連経済社会理事会（ECOSOC）に政策提言できる「総合協議資格」を正式に取得したと発表した。会見した菅波茂代表は「世界各国での救援活動経験を生かし、積極的に政策提言したい」と述べた。

【四谷寛】

「積極的に発言したい」

会見で菅波代表 新NPO法人も設立へ



国連資格の正式昇格を受けて会見するAMDAの菅波茂代表（右）
＝岡山市のAMDA本部で

AMDAは95年、ECOSOCの会議に出席できる「特殊協議資格」を取得。今年1月に総合協

議資格への昇格が内定し、7月21日のECOSOC本会議で承認案が採

択された。日本のNGOで同資格を得たのは、発展途上国の農業開発で知られるオイスカ（東京都杉並区）などに続き4番

目、医療系の団体では初めて。
菅波代表は「相互扶助の精神で平和のために活動し、『もったいない』

に続いて『相互扶助』を英語に定着させたい」と抱負を語った。

また、発展途上国の保健教育などを支援する新NPO法人「AMDA社会開発機構」（仮称）を今年度中に設立する方針を明らかにした。AMDA本体は災害などの緊急救援活動に特化するよう組織再編する。